

P.1 ATypI 2019 Tokyo | P.4 タイプデザインコンペティション2019 表彰式 | P.6 2019年新書体  
P.7 モリサワ東京2020たより | P.8 教育現場のユニバーサルデザイン UDデジタル教科書体



## ATypI 2019 Tokyo

長い歴史と権威を誇るタイポグラフィのカンファレンス「ATypI(エータイプアイ)」が63回目にして日本に初上陸。「再発見」をテーマに、変化と伝統の都市・東京で開催された。2019年9月4日(水)～7日(土)まで日本未来科学館(東京・江東区)にて行われたイベントの様様をレポートする。

「ATypI」は1957年に非営利団体として設立され、タイポグラフィとタイプデザインの発展のための国際カンファレンスを主催しています。今日、世界中で書体関連のカンファレンスやイベントが開催されていますが、最も権威があり歴史があるのがATypIです。タイポグラフィ業界に携わる書体デザイナー、研究者、開発者、教育者やベンダーはこの大会を年間イベントのピークと定め、その年の成果を発表する場所として、また、ビジネスのネットワーキングの場として世界40カ

国以上から集い、活発なコミュニケーションやビジネスが目まぐるしく行われます。

モリサワは団体と大会の趣旨に賛同し、2012年から継続して大会に協賛する中で、世界でも稀有な存在である日本のタイポグラフィを世界に発信したいという想いを募らせていました。そして迎えた2019年。地道な招致活動が実を結び、モリサワはATypI 2019 Tokyoをホストとして迎えることができました。



## 大会ロゴと書体

ATypIでは、ビジュアル・アイデンティティとプログラムや案内に使用される書体を大会ごとに定めています。本大会では、欧文書体に人気書体デザイナー サイラス・ハイスミス制作のOccupant Fonts「Allium(アリウム)」、和文書体にモリサワフォント「UD新ゴNT」が採用されました。どちらもモリサワが保有する書体です。

## オープニング・キーノート

全体プログラムには、初日と最終日に基調講演が設けられており、大会のオープナーとして基調講演を行ったのは、デザイナー／アーティスト／作家／教師／プログラマー／経営者／リーダー、そして何よりもインフルエンサーであるジョン・マエダ氏でした。講演テーマは「Type & Money(タイプとお金)」。日本に脈々と流れるお客様優先の思想や、氏が敬愛するグラフィックデザイナー、ポール・ランド氏とのエピソードを交えながら、氏の考える最適なマーケティング手法を鮮やかに解説しました。軽快なトークながら、現代における書体の価値とマーケットについて、学びの詰まった内容になったことは間違いありません。

[www.youtube.com/watch?v=Zh--mK6r25U](http://www.youtube.com/watch?v=Zh--mK6r25U)

ATypI 19  
Tokyo 東京

ATokyoPI 19



## ワークショップ

ATyplの活動指針は、ビジネスと教育の両分野で専門知識を共有し、潜在能力を伸ばす環境をつくることです。そのため、プログラム構成には必ずワークショップがあり、業界の最先端技術の実践レクチャーから書道まで幅広いコンテンツを揃えています。今大会は11のワークショップが用意され、モリサワからは、書体デザイナーの増田浩之が講師となり「千社札を書く」ワークショップを行いました。「千社札」とは神社や仏閣に参拝に行った記念として貼る札のことで、「江戸文字」と呼ばれる書体が広く使われています。参加者は江戸文字をアレンジしたオリジナル千社札を作成しながら、日本語の筆法や書体デザインを学ぶとともに、日本のタイポグラフィや伝統に触れる特別な体験をしました。

## 講演

大会のメインは、厳正な審査によって選ばれた講演です。内容は、地域特有の伝統的書体研究、最新技術の動向、ホスト国のタイポグラフィ文明と文化、グローバリゼーションと地域主義など多岐にわたり、今回の大会は49の講演で構成されています。

大会3日目の大トリは、株式会社モリサワ代表取締役社長 森澤彰彦による「Type. My Life. (タイプ。私の人生。)」でした。1924年は、当社名誉会長 森澤信夫が世界初の邦文写真植字機を発明した年であり、書体業界にとってはエポックメイキングな年です。講演では、それ以降の100年、写真植字機と優れた書体デザインの普及に専心した名誉会長の生涯と、そのDNAを引き継いだ自身の経験を基に、日本のタイポグラフィの変遷の歴史を解説しました。

[www.youtube.com/watch?v=wr0ti8dYpN8](http://www.youtube.com/watch?v=wr0ti8dYpN8)

また大会最終日には、書体業界のレジェンド、マシュー・カーター氏が欧文書体「Role(ロール)」を題材に講演「Expressing Vocal Tones through Typography(声色のタイポグラフィ)」を行いました。このプロジェクトは、書体の開発という側面だけでなく、言語も文化も記述法も異なるモリサワの日本人書体デザイナーに欧文書体制作のノウハウを伝授する機会として取り組まれました。多様な環境の中、文化を超え、日常的に声色を使い分けるような繊細なタイポグラフィをどのように実現したかが語られました。

[www.youtube.com/watch?v=GcJ9rN4DgTA](http://www.youtube.com/watch?v=GcJ9rN4DgTA)



写真：Luke Garcia/Rodrigo Esper/ATypl

# 「タイプデザインコンペティション 2019」表彰式を開催

## — 特別講演には小塚昌彦氏が登壇 —

株式会社モリサワが主催する「タイプデザインコンペティション 2019」。

応募総数は、過去最高の813点となった。

2019年9月3日(火)に神田明神ホール(東京・千代田区)にて表彰式が開催され、モリサワ賞(金賞・銀賞・銅賞・佳作3点)の受賞者と、ファン投票上位者が表彰された。

### ◆モリサワ賞受賞作品

春のうららの 隅田川  
のぼりくだりの 船人が  
櫂のしづくも 花と散る  
ながめを何に たどふべき  
見ずやあけぼの 露浴びて  
われにも言ふ 桜木を  
見ずやタぐれ 手をのべて  
われさしまねく 青柳を  
錦おりなす 長堤に  
くるればのぼる おぼろ月  
げに一刻も 千金の  
ながめを何に たどふべき

Your Favorite!\*

Of course! I have íj, Íj

A flat brush calligraphic feel

CONTRAST

A Multiscript Type Family for you

6 weights

寒天珈琲 洋酒珈琲

ブレンドコーヒー  
コーヒーゼリー  
ウイスキーコーヒー

紅茶

slévárna & {řízená} stupních \*Textu7pt ©;{2018} »knižní!«

Mass“E1” Czech:1st -Succes @;(10¢) #4.750€! Cast(51%)

Latin, カナ & 漢字  
ちょっとまってください。  
No problem. @Tokyo

STRONG  
nº9134  
WEIGHTS

▲和文部門(金賞) 峰月楷書 ヨコカク(日本)  
和文部門(銀賞) ニブシブ 福士大輔(日本)  
和文部門(銅賞) Ribaasu 廖恬敏(Tien-Min Liao)(台湾)

▲欧文部門(金賞) Areon ノエル・リー (Noheul Lee)(韓国)  
欧文部門(銀賞) Kolektiv オンドレイ・パーホル(Ondřej Báchor)(スイス)  
欧文部門(銅賞) Easy テオ・ギヤール (Théo Guillard)(フランス)

モリサワ賞和文部門の金賞を受賞したのは、「峰月楷書」。トロフィーを手にしたヨコカク代表の岡澤慶秀氏は、「今回の受賞を励みに、引続き書体づくりに挑んでいきたい」と喜びを語りました。モリサワ賞欧文部門で金賞に選ばれたのは「Areon」。マルチスクリプトの書体デザイナーのノエル・リー氏は「このような栄誉ある賞を、ほかの才能のある人々とともに受賞できたことはすばらしいと思う」と語りました。このほか、

特設サイトで行われたファン投票の上位者にもトロフィーが授与されました。

表彰式は、審査員長である廣村正彰氏の「時代の流れのなかで、どんな書体の人々に選択されるのかを中心に議論した。新しい書体への期待とともに、受賞者にはおめでとうといいたい」という総評により締めくくられました。



▲タイプデザインコンペティション 2019の受賞者ならびに審査員

## 小塚昌彦氏による特別講演も開催

表彰式後は、日本のタイプデザインの歴史に数々の功績を残してきた、タイプデザインディレクターの小塚昌彦氏による特別講演「たて組か、ヨコ組かー日本語組版の残された宿題・ひらがな」が開催されました。

小塚氏は、1974年にスイスで開かれた「第1回ATypI(エータイプアイ)ワーキングセミナー」に参加したときのことを「書体のデザインにまつわる技術開発と、進歩のきっかけになるものであった」と述懐。1950年代にモリスワ製写植機が普及してから1980年代にデジタル化が進むまでの過程を、思い出とともに語りました。

また、ひらがな書体について、「ひらがなは縦書きのためにつくられた文字である」と述べ、自身が制作した横書き用のひらがな書体を例に出しながら、縦書きでも横書きでも使用できるフォント開発の工夫と、横組みの書体には発展の余地があることを説明し、「ぜひ、横組み専用のひらがな書体のデザインに挑戦してもらいたい」と語りかけました。

特別講演終了後は和やかなレセプションとなりました。参加者は活発な意見交換を行い、今後のタイプデザインについて語り合いました。



▲タイプデザインディレクター 小塚昌彦氏

# 2019年モリサワ新書体

モリサワは、2019年10月24日(木)に2019年新書体をリリースした。

見出し利用で効果を発揮する和文書体に加え、令和合字やカーニング情報を追加し、  
欧文をリニューアルしたAP版書体などが追加された。今回は、その中から5書体を紹介する。

## けんせん 剣閃

見出し用に作成された骨太で力強い印象を持つ筆書系デザイン書体。筆先のニュアンスまで再現された躍動感のある筆使いと、しっかりとした硬質な黒みが特徴です。

## こきん きょう / こきん 遊かな 小琴 京かな / 小琴 遊かな

力の抜けたやさしい風合いの筆書系デザイン書体です。可愛らしくアンバランスな骨格と、始筆・収筆部に丸みのある特徴的なエレメントを組み合わせた漢字に、「小琴 京かな」ではゆったりとした運筆で丁寧に書かれたかなをマッチングさせました。レトロで素朴な雰囲気演出したい際に最適です。また、「小琴 遊かな」では軽やかで親しみやすい表情のかなを合わせています。漢字に比べて小ぶりに設計されたかなが、文章に明るく楽しい印象のリズムを与えます。

## しゅうえい にじみかくゴシック金 / しゅうえい にじみかくゴシック銀

「秀英角ゴシック金」「秀英角ゴシック銀」をベースに、活版印刷による紙面上でのインクのにじみを再現した書体です。秀英明朝ののびやかな骨格を元に設計された漢字と、「秀英にじみ角ゴシック金」は大ぶりで手書き字形にも近い親しみやすいかなを、「秀英にじみ角ゴシック銀」はフトコロの締まったクラシックな印象のかなを持ちます。線の揺らぎや交差部分のにじみが加わることで、アナログ感のある落ち着いた雰囲気やレトロな風合いを演出します。

2019年新書体のより詳細な情報は  
以下のWebサイトでご確認いただけます。  
[www.morisawa.co.jp/topic/upg2019](http://www.morisawa.co.jp/topic/upg2019)

## けんめい 剣閃

極上熟成焼肉  
ブラジリアン柔術  
明治・大正・昭和・平成・令和

## こきん 京かな 小琴 京かな

初夏を感じるとりあわせ  
ロングステイで楽しむ記念日  
心ほぐれる風情

## こきん 遊かな 小琴 遊かな

普段使いはお気に入りばかり  
ポーランド風チーズケーキ  
絵手紙でご挨拶

## しゅうえい にじみかくゴシック金 秀英にじみ角ゴシック金

おてんきマルシェ  
我が家でカフェ気分  
愛するハーフサイズカメラ

## しゅうえい にじみかくゴシック銀 秀英にじみ角ゴシック銀

あなたも金継ぎ  
絶対行くべし!冬の山陰  
懐かしのカセットテープ

モリサワは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「フォントデザイン&開発サービス」オフィシャルサポーターとして、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に社員を派遣している。今回は、2019年4月より同委員会広報局で出版物作成に携わる井上芽久美に話を聞いた。



私は広報局の大会の出版物を作成する部署で、マニュアル類の制作進行管理を担当しています。

モリサワではお客様サポート業務を担当していたのでDTPの知識はありますが、実際の制作前のスケジュール調整や素材の手配、制作会社への指示出しなどの業務は未知の世界です。慣れないことばかりで失敗して落ち込むこともありますが、「貴重な学びだ」と日々自分に言い聞かせています。サポート業務担当時は、制作会社や印刷会社の方の技術的な質問に答えることがよくありましたが、いまは違う立ち位置で関わることとなり、モリサワにいた頃にはわからなかった業界の内側を知ることができるのも、価値ある経験です。

さて、大会で使用するマニュアルといっても、多くの方がパッと思い浮かぶのは、オリンピックやパラリンピックの競技選手に関わるあれこれを書いた「遠足のしおり」ならぬ「東京2020大会のしおり」のようなものではないでしょうか。

実際には、宿泊、輸送、医療、報道、税など、オリンピックやパラリンピックに関わる人々に対し、多岐にわたる分野のマニュアルを作成します。作成言語が複数あるうえ、同じテーマであっても、競技団体向けや選手の家族向け、パートナー企業向けなど、対象者によって異なる内容を提供する場合もあり、膨大な数のマニュアルがオリンピックやパラリンピックを支えています。

私は配属された当初、校正などの簡単な作業から始めました。マニュアルは数百ページのボリュームのものもあり、日本語版があるものは少数派で多くが英語です。そのため、不慣れな英語の専門用語や表記ルールを頭に叩き込み、必死に英文を目で追っていました。校了したマニュアルを改めて眺めると、達成感とは別の思いが湧いてきます。

モリサワは長らく和文フォントを中心に提供してきたフォントメーカーですが、数百ページの出版物で、弊社が提供した東京2020公式フォントのみが整然と並んでいる姿には新鮮な感動がありました。そのデザインは、字形がスリムで並んだ様子はシステムチックで未来的。シンプルゆえに力強さがあり、カウンターが広く、明るい印象。スポーツの大会にぴったりだと思います。

いまでは自分が主担当のマニュアルがあります。記事を執筆している現在、数カ月間かけて制作してきたあるマニュアルが、校了に向けてラストスパートをしているところです。この紙面が発行される頃には、色んな国の関係者の手に渡っており、それぞれの方がマニュアルの内容を元に大会に向けて準備を進めるはずで、言語や文化の異なる世界中の人たちが、弊社の文字を読むことで東京2020大会を目指していると考えると、とてもワクワクします。

## 一般的な教科書体との違い

読みやすい書体として教育現場やメディアで話題の「UDデジタル教科書体」。今までの一般的な教科書体と何が違うのでしょうか。

一般的な教科書体は、毛筆の形状をベースに「子どもたちが初めて文字を習うときのお手本」となる書体として開発されています。しかし、ハライやハネの先端がとがっていると自分に迫って来るようでストレスになる視覚過敏の子どもたち、毛筆をぐっと押し付けた形状など、強調された部分が気になり文章を読み進められない子どもたちがいます。また、ロービジョン（弱視）の子どもたちは、一般的な教科書体のように線の太さに強弱があると、細い部分が見えずどこが運筆の線なのかわかりにくいと感じます。それらの場合、線の太さが一定でエレメント\*1もシンプルなゴシック体や丸ゴシック体で代用していましたが、ゴシック体のような印刷字形と、手書きからなる教科書体は形状が異なります。「UDデジタル教科書体」は、強弱を抑えて一定の太さを保ったサインペンのような線で、画数や形状が手書きに近いので、一般的な教科書体やゴシック体などの欠点をカバーした、より良い学びに適したデザインになっています。

- \*1 エレメント：縦線、ハライ、点など骨格に肉付けされた書体の共通のデザイン要素
- \*2 ディスレクシア：学習障害の一つで、知的能力や理解力には問題が無く、文字の読み書きに困難を抱える障害
- \*3 エビデンス：研究や検証結果に裏付けされた科学的根拠  
「UDデジタル教科書体」は、慶應義塾大学 中野泰志氏によるロービジョンのエビデンスや、大阪医科大学LDセンター 奥村智人氏による読み書きに困難さがある子どもたちのエビデンス、奈良県生駒市の通常学級での検証など多様なエビデンスを取得している。
- \*4 ICT教育：電子黒板やタブレット、ネットワークといったICTを活用した環境での教育

## 障害の有無に関わらず読みやすい 「新時代の教科書体」

「UDデジタル教科書体」は、ロービジョンの子どもたちが紙に目を近づけて懸命に文字を読む姿を見た事をきっかけに開発を始め、ディスレクシア\*2の子どもたちが教科書を読めずに学習が止まっている現状を聞いて形状を再検討したフォントです。ヒアリング実施やエビデンス取得\*3など、多くの協力者に支えられ、制作・リリースできました。

ICT教育\*4が推進される学校現場では、電子黒板やタブレットの活用が増えています。電子黒板で一般的な教科書体を使うと、席が離れた時に、視力に問題がなくても文字が見えにくくなることがあります。またタブレットでは、液晶モニタの光もあるので、長文を読むと眩しさや目の疲れを感じやすくなります。「UDデジタル教科書体」はそのような場合でも読みやすく、障害の有無に関わらずさまざまな状況の子どもたちの学習を助ける新時代の教科書体です。

### ゴシック体

山返令心ふ

#### 教科書体（手書き）との違い

- 画数が異なる
- 形状が異なる
- 運筆がわかりにくい

### 一般的な教科書体

山返令心ふ

#### 子どもによってストレスに感じる部分

- 筆を押し付けた形状
- 先端のとがった形状
- 線の太さの強弱が大きい

両者の欠点をカバー

### UDデジタル教科書体

山返令心ふ

MORISAWA PASSPORT

豊富な書体バリエーションを常に最新のフォント環境で利用できるライセンス製品です。



#### お問合せ・ご要望は

経営戦略部広報宣伝課 E-mail: [pr@morisawa.co.jp](mailto:pr@morisawa.co.jp)

#### Webサイトは

[www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news](http://www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news)



次号は 2020年3月発行 です

モリサワ

株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151  
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel:03-3267-1231  
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel:022-296-0421  
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel:052-201-2341

フォント男子!



業界初!?フォント擬人化コメディ漫画開幕! Webコミックサイト「ヤングエースUP」にて全話無料連載中!



#### ●今号のフォント

本文：中ゴシックBBB、UD新ゴ L

見出し：見出ゴMB31、UDデジタル教科書体 M / B、リュウミン B-KL / H-KL、UD新ゴ M / DB、UD黎明 B、Role Serif Banner Bold

札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112  
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel:092-411-5875  
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田ビル2F Tel:099-252-2255